

救命救急医学

【Emergency Medicine】

担当責任者 教授（救急医学） 真弓 俊彦

ねらい

救命救急は医師であれば誰でもが必要な知識、手技であり、以下を目標とする。

1. 救急・災害医療に必要な基本的な知識・手技を身につける。
2. 信頼できる情報に基づいた医療を実践できる礎を築く。

学修目標

1. 一次二次救命処置を述べることができる。(II-7)
2. 外傷・敗血症・急性腹症・災害での初期対応を述べるができる。(IV-4)
3. 救急医療システムを述べるができる。(IV-10)
4. 質の高い文献の入手法、批判的吟味について述べるができる。(IV-5)

事前事後学習の方法

1. 事前:事前配布のPDFおよび「標準救急医学 第5版」の該当箇所を必ず確認する。
2. 事後:授業の復習をPDFや「標準救急医学 第5版」該当箇所、その他の資料で復習する。

成績評価方法・基準

1. 学習能力:各授業の事前事後で小テストを実施。1回の授業につき10点配点。(合計:100点)
2. 学習能力:最終試験 合計100点
3. 態度:各授業の参加と質問などの積極的な参加による加算により各授業の配点10点(合計:100点)
4. 1・2・3の合計得点を3分の1とし、100点に換算し、ABCDFの5段階評価とする。

○教科書

日本救急医学会監修「標準救急医学 第5版」医学書院 ISBN-13: 978-4260017558
必ず購入し、自己学習すること。筆記試験はこのなかから出題される。

○参考書

特になし

講義:2201講義室

年月日	曜日	時限	授業項目(内容)	コアカリ項目			担当者
				大項目	中項目	小項目	
R3.10.1	金	IV	心肺蘇生	F	1	1	真弓 俊彦
10.6	水	I	外傷Primary Survey,Secondary Survey、国際救助	〃	3	6	安藤 恒平
10.8	金	IV	救急システム	B	2		郡山 一明(学外)
10.13	水	I	文献検索、批判的吟味	F	3	1	福岡 敏雄(学外)
10.15	金	IV	ガイドラインとは、診療補助ツール、サバイバル	B	2	4	吉田 雅博(学外)
10.20	水	I	生体侵襲とショック	E	3		小野 聡(学外)
10.27	〃	〃	新興再興感染症(新型コロナウイルス含) (※)	〃	1		伊藤 重彦(学外)
11.5	金	IV	災害(トリアージ、システム、DMAT)	F	2		大友 康裕(学外)
11.17	水	I	救急診療のポイント	〃	1		林 寛之(学外)
11.19	金	IV	敗血症管理	〃	3		真弓 俊彦

*上記予定は前後することがある。掲示板に注意すること。

*小テスト:小テストは、毎回の授業の事前・事後で実施する。